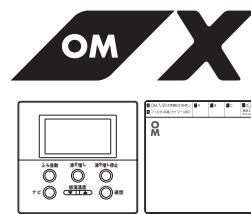


OMX + 蓄電ハイブリッドシステム

停電時の使い方

※詳細な内容につきましては、「アドボイス 取扱説明書」およびOMXの各取扱説明書をご覧ください。



停電時の音声案内(表示画面にも案内が表示されます)

音声で必要な情報をお知らせします。

・ 停電すると・・・



停電のため、蓄電池から電気を供給しています。
使用しない電気製品は、電源を切ることをお勧めします。

・ 蓄電池の残量が少なくなったときは・・・



現在の蓄電池残量の目安は〇〇%です。
現在の電気使用量であれば、〇時間程度使えます。

・ 停電時に大容量の電力消費があったときは・・・



停電のため蓄電池から電気を供給しましたが、現在の電気使用量が大きいので蓄電池からの電気の供給がとまりました。
使用する電気製品を限定してください。

通常時の動きと表示



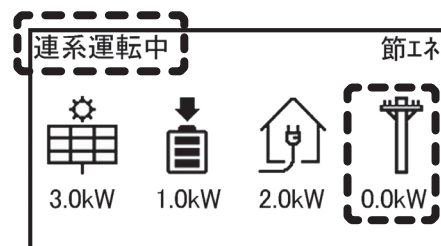
自動で切り替わります。

・ 昼間

太陽光パネルで発電した電気は、昼間の「自家消費」と「蓄電」を優先
蓄電池がフル充電したら「自家消費」と「売電」に自動で切り替え

・ 太陽光発電しない夕方から翌朝、天候が悪い日

発電しない夕方から翌朝は、「蓄電」された電気を使用
※蓄電池が空で発電もできないときのみ電気を購入



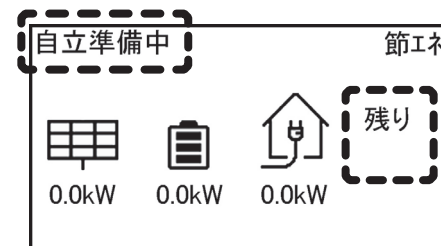
停電時の動きと表示



自動で切り替わります。

1 「自立準備中」に切り替え

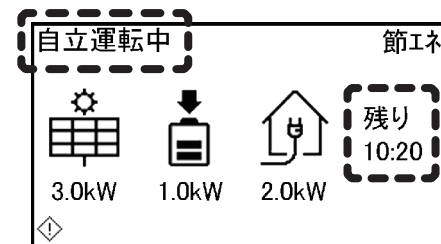
停電になると自動的に表示が「自立準備中」になり、一旦電力供給を停止します。



2 「自立運転」を開始

自立運転の準備を始めてから約10秒後、「自立運転」を開始して電力が復帰します。

このとき一番右の表示には、現在の使用状況から推定される蓄電池残量(使用可能時間)が表示されます。(例：10:20=10時20分)



3 蓄電池の残量がなくなったとき

蓄電池の残量がなくなると電力の供給ができなくなり、モニターが消灯し表示ランプも消灯します。

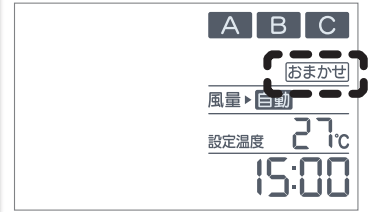
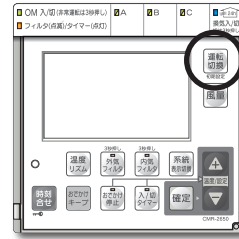
太陽電池パネルで発電ができるようになったら、自動で「自給運転」を開始して電力が復帰します。



停電時のOMXの使い方 変更してください。

空調

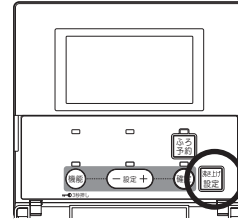
- 「おまかせ」運転モード



給湯

- 「おまかせ」設定で沸き上げ(お買い上げ時の設定)

断水していなければ沸き上げ運転は可能です。



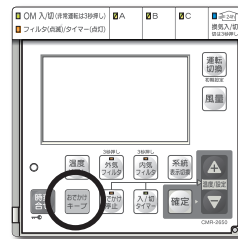
災害時(停電)のOMXと家電の使い方 変更してください。

できるだけ省エネで快適な環境で、生活することをおすすめします。

空調

- 「お出かけキープ」運転にする

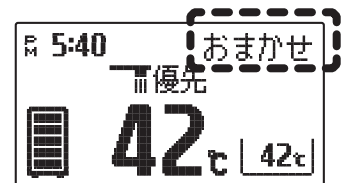
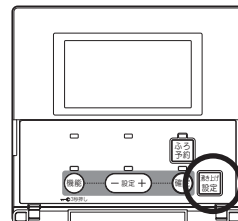
冷房は30℃設定、房暖は15℃設定になります。
通常時の運転よりも空調を控えめに設定する機能です。



給湯(断水していない場合)

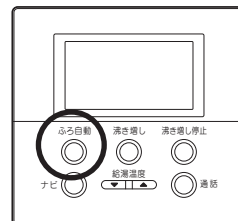
- 「おまかせ」設定で沸き上げ(お買い上げ時の設定)

断水していなければ沸き上げ運転は可能です。
ただし、最小限のお湯の使い方としてください。
保温やぬるくなったお湯を沸き上げることはしないで、入浴は短時間で済ませてください。



1 「ふろ自動」でお湯はりをする

お湯はりを終わるとふろ自動ランプが「点滅」から「点灯」に変わり、保温を開始します。



2 「ふろ自動」を解除する

もう一度「ふろ自動」を押すと解除され、ふろ保温が中止されます。



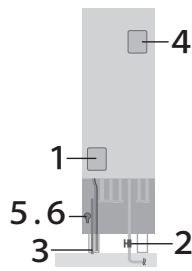
給湯(断水している場合) 変更してください。

沸き上げを「停止日数設定」する

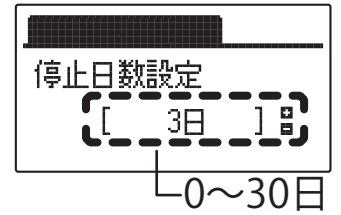
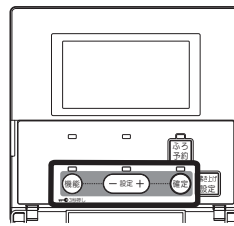
貯湯槽の給水栓を閉じて沸き上げ停止日数を最大限にしてください。(最長30日まで)

断水復旧後にタンクのお湯(水)が濁ったり、お湯が(水)の出す勢いが弱くなったりすることがあります。

貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。



1. 漏電遮断器を「OFF」にした後「ON」にし、約1分後再度「OFF」にする
2. 給水元栓を閉める
3. 排水ホースの先端にバケツなどをセットする
4. 逃し弁のレバーをゆっくり上げる
5. 排水栓をゆっくり「排水」にする
排水ホースからお湯(水)を取出します。
6. 排水栓を「メンテナンス」に戻してお湯を止める
お湯(水)を取出し終わったら…
7. 排水栓を「通常」に戻す
8. 逃し弁のレバー下げる



1. 【機能】ボタンを押す
 2. 【- 設定 +】ボタンで「時刻・その他設定」を選択
 3. 【確定】ボタンを押す
 4. 【- 設定 +】ボタンで「停止日数」を設定
 5. 【確定】ボタンを押す
 6. 完了
- ※解除するときには停止日数設定を「0日」にする

ふろのお湯の利用

おふろの残り湯をトイレの水としての利用は可能です。ただし、長時間浴槽にためておくとも雑菌が発生し衛生的ではありませんので注意してください。

家電(待機電力を最小限に)

1 冷蔵庫とテレビ以外のコンセントは外す



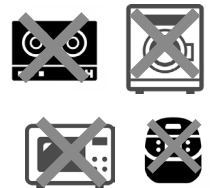
2 照明器具の利用は最小限にする

※電器製品の使用電力が大きいと停電したときの蓄電池の産量の減りが早くなります。

特に夜間は太陽光パネルの発電がないため充電ができません。

普段何気なく使っている温水洗浄便座や、ウォーターサーバーのコンセントも外してください。

できるだけ省エネな環境で生活することをおすすめします。



復旧時の動きと表示



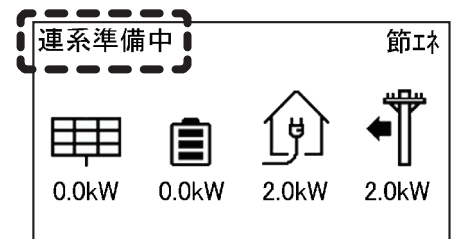
自動で切り替わります。

復旧後 変更してください。

1 「連系準備中」に切り替え

停電が復旧すると自動的に分電盤が電力会社から通電します。次にモニターの表示が「連系準備中」になり連系準備を始めます。

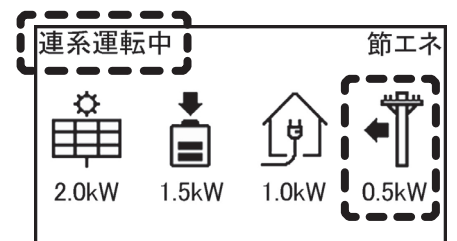
連系準備には数分かかることがあります。



2 「連系運転」を開始

連系が始まると「蓄電池」使い切りレベル(10%程度)まで充電を行います。

その後は停電前の運転モードで運転を行います。



3 OMXの「お出かけキープ」を解除する

停電の完全復旧が確認されたら、OMXを「おまかせ」運転モードに戻してください。

家電のコンセントもほこりや汚れを取り除いてから、復旧してください。



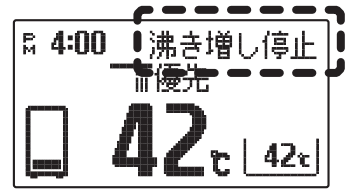
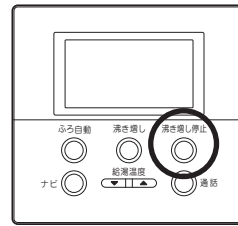
4 外した家電のコンセントを戻す

貯湯槽の復旧の取り扱い(断水していた場合)



1 沸き上げを停止する

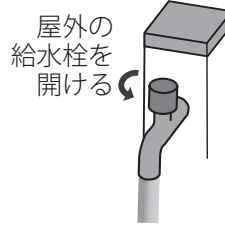
「沸き増し停止」ボタンを押して、沸き上げを停止してください。



2 屋外の給水栓を開ける

断水復旧後は貯湯槽の給水栓を閉じたままの状態、屋外の給水栓を開けて汚れた水や濁りがなくなったことを確認してください。

水道管が断水時に汚れるため汚れを排除します。



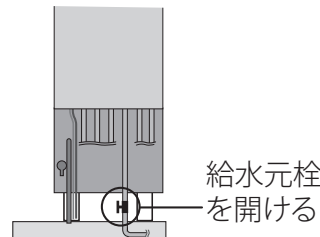
3 宅内の水側の給水栓を開ける

濁りや汚れがないことを確認ください。



4 貯湯槽を満タンにする

貯湯槽の給水元栓を開けると自動で満タンになります。

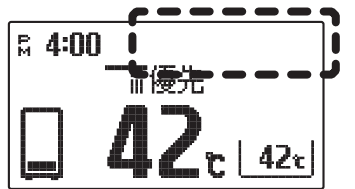
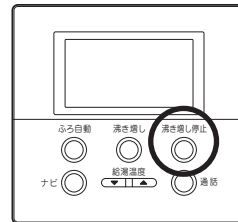


5 沸き上げを解除する

給水元栓を一旦閉めてから、給水減圧弁にあるストレーナーの掃除を行ってください。

掃除が終わったら、再度「沸き増し停止」ボタンを押して沸き上げを解除してください。

お湯の出が悪い場合は、施工工務店へお問い合わせください。



災害時に状況によって使い方を変更



・弊社でのシミュレーションでは、夏季(冷房期)・中間期は通常運転で蓄電池が使い切りレベルに達することは確認されていませんが、冬季(暖房期/12月~2月)は日射量が少なく、積雪や夜間の暖房電力消費量も多いため使い切りレベルまで蓄電池が放電することが確認されています。

・非常時に蓄電池を効率よく使い、その時に合った運転モードに切り換えましょう。

自立率を高める運転モード

・「節エネモード」

太陽電池からしか蓄電池へ充電しない運転モードです。
All Time Real ZEHでは「節エネモード」に設定し自立率を高めめます。

もしものときに備える運転モード

・「蓄電モード」

常に蓄電池を満充電に保つ運転モードです。
台風や大きな低気圧は、予報が出て停電に備えること可能です。

- ・ 昼間/太陽電池の余剰電力をすべて充電
- ・ 夜間/電力会社から買電して充電